

9月1日は「防災の日」です
防災は日頃の心構えと備えから!!

問合せ 自治振興課（危機管理室）

台風、地震などの災害についての認識を深め、それらの災害に対処する心構えを準備するためとして、昭和35年に制定されました。また、昭和57年からは9月1日の「防災の日」を含む1週間（8月30日～9月5日）が「防災週間」と定められています。

今年も自然災害により、日本各地で大きな被害が発生しています。大阪府においても6月18日に発生した「大阪府北部地震」や西日本を中心に広い範囲で記録的な大雨となった「平成30年7月豪雨」災害がありました。

地震や風水害といった自然災害の発生を防ぐことはできません。しかし、日頃から防災意識を高め、きちんと備えておくことで、災害による被害を減らすことはできます。

減災のてびき
 ～今すぐできる8つの備え～

自然災害は、いつどこで発生するかわからず、どんなに気を付けていても避けられない場合があります。災害を完全に避けることは難しくても、被害を最小限におさえることはできます。そのためには、日頃から災害に備えて準備しておくことが大切です。



被災地へ支援を行いました

大阪府北部地震

【物資支援】

- 高槻市（6月18日）…ボトル水500ml×600本
- 茨木市（6月18日）…ボトル水500ml×600本
- 枚方市・高槻市・茨木市・摂津市（6月19日～22日）…ブルーシート（全国青年市長会会員市と連携・本市提供数ブルーシート550枚・固定用ロープ20巻）

【応急給水支援】

箕面市で給水活動（6月19日）…給水車1台・職員2人派遣
 給水バッグ400袋

【人員派遣】

- 大阪市北区（6月20日～22日）…職員1人
- 茨木市（6月25日）…職員1人
 （6月27日～7月31日）…職員5人
- 高槻市（6月25日～28日）…職員1人
- 日本DMAT（災害派遣医療）（6月18日）…りんくう総合医療センターより医師2人、看護婦2人、薬剤師1人

【公用車貸与】

- 高槻市（6月27日～7月31日）…ライトバン1台

平成30年7月豪雨

【物資支援】

- 宇和島市（7月8日）…ボトル水500ml×2,400本・給水バッグ1,500袋
- 倉敷市（7月9日）
 …バスタオル5,000枚・タオル3,000枚
- 大阪府市長会を通じて広島方面（7月10日）
 …バスタオル2,000枚・アルファ化米1,000食・軍手720組
- 宿毛市（7月10日）…バスタオル1,000枚
- 尾道市（7月12日）…バスタオル1,000枚・給水バッグ1,000袋・サイバール提供分（タオルケット200枚・ガーゼフェイスタオル2,000枚）

【人員派遣】

●緊急消防援助隊
 泉州南消防組合では、緊急消防援助隊5隊を派遣し、主に広島市安芸区で救助活動を実施

【被災者受入】

被災者を受け入れるため、市営末広団地住宅5戸を提供準備

その1 災害被害を少なくする「自助」「共助」

自分の命は自分で守る「自助」、近隣どうしが日頃から連携・協力して防災活動に取り組み、非常時に助け合う「共助」が大切です。

その2 室内の危険を知ろう！事前の対策が明暗を分けます

大地震のとき、家具や電化製品、インテリアが凶器になることを知って、固定器具などで対策をとりましょう。

その3 わが家の耐震性をチェックしましょう

昭和56（1981）年以降に建てられているかどうか、自分の家の強さを知る一つの目安となります。耐震改修促進のための補助制度（<http://www.city.izumisano.lg.jp/kakuka/toshi/toshi/menu/1334904848451.html>）がありますので、必ず耐震診断を受け、その結果に応じた補強を行いましょう。

その4 避難場所や連絡方法を決めましょう

いざというときの避難場所と連絡方法を家族で話し合い、休日などを利用して安全に避難先へ向かう経路を「もしもの時の防災ガイド（防災マップ）」（<http://www.city.izumisano.lg.jp/kakuka/kyoudou/jichi/menu/bou/higaisukunaku/gaido.html>）などを参考に確認しておきましょう。

その5 正しい知識と日頃の備え

- 水害編 - 集中豪雨による災害…近年、全国各地で大雨の被害が相次いでいます。ごく限られた範囲に、短時間に、極めて大量の雨が降る短時間強雨が頻発し、大きな被害をもたらします。台風だけでなく、こうした大雨にも注意を払いましょう。地区別ハザードマップ（津波・洪水編）（<http://www.city.izumisano.lg.jp/kakuka/kyoudou/jichi/menu/bou/higaisukunaku/1471602482298.html>）
- 土砂災害編 - 土砂による災害…集中豪雨や長雨などで地盤がゆるむと土砂災害（土石流や地すべり、がけ崩れなど）が発生します。国や地方自治体では危険な箇所をあらかじめ想定し、様々な対策を行っていますが、土砂災害が心配される地域に住むみなさんが、危険をいち早く察知し、素早い行動につなげることが被害を軽減するうえで最も大切です。地区別ハザードマップ（土砂災害編）（<http://www.city.izumisano.lg.jp/kakuka/kyoudou/jichi/menu/bou/higaisukunaku/1409907724676.html>）

その6 生活必需品を備えましょう

非常備蓄品や非常持出品は、半年に1回程度の割合で中身を点検しましょう。飲料水や非常食の賞味期限のチェックをはじめ、医薬品などの使用期限、電池切れなどの確認は重要です。また、家族構成や健康状態の変化などによっても必要となるものや量が変わってきます。いったん準備してもそれで安心せず、定期的な見直しを行いましょう。

■今すぐできる災害への備え ～わが家の「防災会議」～（<http://www.city.izumisano.lg.jp/kakuka/kyoudou/jichi/menu/bou/higaisukunaku/bousaikaigi.html>）

その7 ふだんからの地域のつながりが大切です

大規模災害時の救助や避難などには、ふだんの近所づきあいが力を発揮します。また、お年寄りや障害のある人など災害に弱い人々（避難行動要支援者）の立場にたった心配りが大切になります。泉佐野市では、高齢者や障害のある人のうち、災害時に迅速に避難行動をとることが困難な人が、地域の中で効果的な支援を受けられるよう、「地域の絆づくり登録制度」を設け、地域のみなさんと協働しながら、災害時の支援体制づくりを進めています。（<http://www.city.izumisano.lg.jp/kakuka/kyoudou/jichi/menu/bou/torikumai/1405313791662.html>）

その8 避難に関する情報を知る

■災害発生時の危険が迫ったとき、避難が必要な地域に向け、下記の情報を発信します。

- 避難準備・高齢者等避難開始…お年寄りや身体の不自由な人など、避難に時間を要する人は避難をはじめましょう。その他の人は、避難に向けて準備しましょう。
- 避難勧告…災害発生が予想される地域の人に、避難を勧めるものです。
- 避難指示（緊急）…避難勧告よりも強く避難を求めるものです。ただし、外出することが、かえって危険な場合は近くの安全な場所や自宅内の安全な場所に避難しましょう。

■防災行政無線のサイレンの種類

屋外拡声子局装置のスピーカーから発するサイレンは、各情報や放送により以下の種類があります。

- 災害情報…災害情報の種類別にサイレンを鳴らした後、音声放送を行います。
 - ・避難指示（緊急）…サイレン20秒吹鳴+6秒休止 ×2回
 - ・避難勧告…サイレン10秒吹鳴+6秒休止 ×2回
 - ・避難準備・高齢者等避難開始…サイレン5秒吹鳴+2秒休止 ×2回
 - ・津波警報…サイレン5秒吹鳴+6秒休止 ×2回
 - ・大津波警報…サイレン3秒吹鳴+2秒休止 ×3回
 - ・緊急地震速報…チャイム音
- [自動電話案内サービス ☎479-3710]
- ・火災情報…消防団のある地域では火災が発生した場合、消防団員の招集や近隣住民にお知らせするために、消防サイレンを鳴らします。
 - ・地元火災…サイレン5秒吹鳴+2秒休止×8回
 - ・全団火災（全消防団員を招集する場合）…サイレン5秒吹鳴+6秒休止 ×6回
- [火災に関するテレホンサービス ☎463-0009]

さまざまな方法で、防災情報を発信しています

災害時に役立つポータルサイトと防災情報メールの配信

【ポータルサイト】

ホームページアドレス <http://www.osaka-bousai.net/>

「おおさか防災ネット」は、府と府内市町村が共同し、府民のみなさんに幅広い防災情報を提供するポータルサイトです。府内に発令される気象に関する注意報や警報、地震、津波情報、ライフライン情報、避難勧告・指示等の情報を提供しています。

【防災情報メール】

携帯電話ご利用の人…メールアドレスを登録すると防災情報がメールで配信されます。

「touroku@osaka-bousai.net」へ空メールを送信してください。

※右のQRコードもご利用いただけます。



防災情報メールQRコード▲

迷惑メール対策で、ドメイン指定受信をしている方は、あらかじめ上記アドレスを登録してください。また、URL 付きメール受信拒否や宛名設定など、各種の受信解除もしておいてください。登録料無料、通信料は利用者負担となります。

ツイッター・フェイスブックで防災情報を配信

泉佐野市防災情報ツイッター・フェイスブックも開設しています。

【ツイッター】

- アカウント名：泉佐野市防災情報（公式）
- アカウント ID：@Izumisano_Bosai



◀ツイッター QRコード

【フェイスブックページ】

- ページ名：泉佐野市防災

▶フェイスブック QRコード



観光と防災情報を多言語で配信 !!

訪日外国人や市内在住の外国人向けに、市内の観光情報を、スマートフォンなどを使って、下図のQRコードを読み込むことで、10か国の言語（英語、中国語、韓国語など）で見ることができるサービスを提供しています。

近年、市内でも増えている外国人のみなさんにも安心して滞在してもらうため、このシステムを使って、防災情報についても、提供できるようになりました。



9月5日(水) 午前11時実施!!

大阪880万人訓練

～屋外スピーカーや携帯電話が一齐に鳴ります～

この訓練を「あなたの命を守る普段の備え」について考えるきっかけにしてください。(病院や会議など鳴ってはいけない場所にいるときは、あらかじめ電源を切ってください)

実施日 9月5日(水)

時間・内容

- 午前11時 地震発生…防災行政無線の屋外スピーカーで緊急地震速報を放送します。
- 午前11時3分頃 大津波警報発表
(訓練用エリアメール・緊急速報メールが届きます。)
- 午前11時5分頃 泉佐野市から2回目発信(火災の拡大を知らせる訓練用エリアメール・緊急速報メールが届きます)

問合せ先 府民お問合せセンター (☎06-6910-8001)

※訓練について詳しくはホームページ(http://www.pref.osaka.lg.jp/shobobosai/trainig_top/)をご覧ください。



泉佐野市消防団

消防団は、消防組織法第9条に消防本部・消防署と並び定められており、それぞれの仕事を持ちながら地域の防火防災のために活動する非常勤の消防組織で、平成30年4月1日に新たに条例定数20人の市役所消防分団が発足し、130人の男性消防団員・20人の女性消防団員と合わせて170人が泉佐野市内で活動しています。

消防団の最大の特徴は動員力であり、その数は全国で約85万人(消防職員は約16万人)にのぼり国内最大級の防災グループと言われています。([平成29年版消防白書]より)

なお、女性消防団員について、平成31年4月1日付けで若干名の採用を予定しており、詳しくは広報11月号に掲載します。

